


長岡京市都市再生整備計画の
事後評価について

長 岡 京 市



都市再生整備計画

西山天王山駅周辺地区 ・ 都心ゾーン地区

の事後評価(修正版)について



令和6年2月

事後評価の流れ

事後評価原案の作成



R 5.10.6 まちづくり審議会を開催

事後評価部会の設置について承認いただいた。



R5.12.4 事後評価部会を開催

2地区分の事後評価の内容の妥当性について審議頂いた。



頂いた意見を事後評価に反映



本日 まちづくり審議会への報告

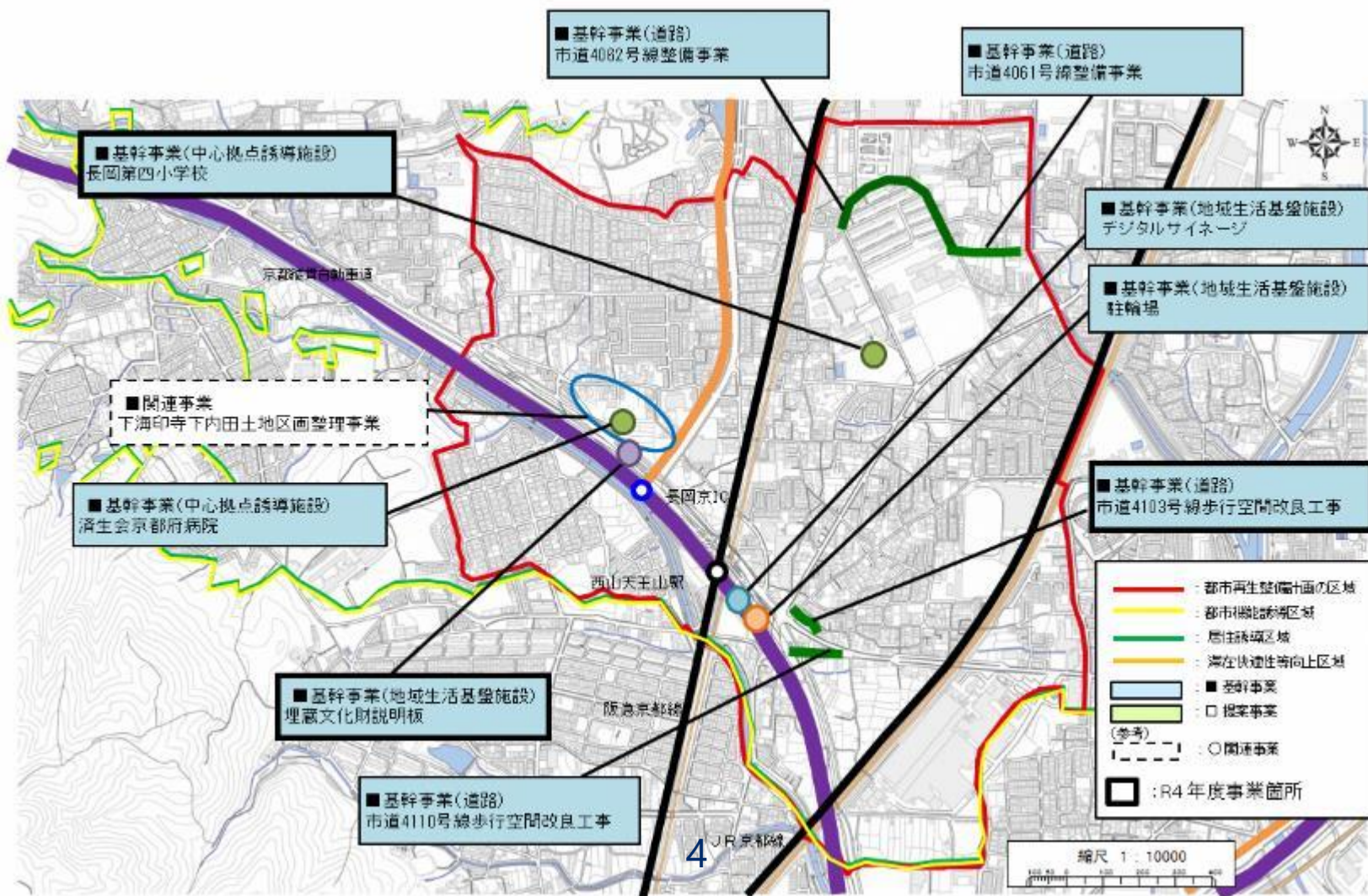
専門部会での意見を踏まえて修正した事後評価の内容について、報告します。

- ① **都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区」について**
- ② 事後評価部会での審議内容について
- ③ 都市再生整備計画「都心ゾーン地区」について
- ④ 専門部会での審議内容について
- ⑤ 今後の流れについて

西山天王山駅周辺地区 について

■ 計画期間 令和元年度～令和5年度

計画区域面積 = 167ha



西山天王山駅周辺地区 について

整備前
H28

主要駅の
乗降客数

〈西山天王山駅 乗降客数〉
12,244人/日

駅施設の
利用者数

〈駅東駐輪場 利用者数〉
36,730台/年

地区内の
定住人口

12,880人

事業

市道整備

駐輪場整備

デジタルサイネージ設置

埋蔵文化財説明版設置

済生会京都府病院移転

長岡第四小学校再整備

など

整備後
R5(目標)

主要駅の
乗降客数

〈西山天王山駅 乗降客数〉
12,474人/日

駅施設の
利用者数

〈駅東駐輪場 利用者数〉
47,749台/年

地区内の
定住人口

12,880人

① 都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区」について

② **事後評価部会での審議内容について**

③ 都市再生整備計画「都心ゾーン地区」について

④ 専門部会での審議内容について

⑤ 今後の流れについて

事後評価部会での審議内容

審議内容	
事後評価手続き等にかかる審議	成果の評価
	実施過程の評価
	効果発現要因の整理
	事後評価原案の公表の妥当性
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の妥当性
	フォローアップについて

評価指標と達成状況

指標	従前値 (基準年度)	目標値 (R5年度)	実績値	目標達成度
≪評価指標 1≫ 西山天王山駅の 乗降客数	12,244人/日 (H28年度)	12,474 人/日	14,857 /日 (R4年度※1)	○
≪評価指標 2≫ 西山天王山駅 東駐輪場の利用者数	36,730台/年 (H28年度)	47,749 台/年 (R 5年度)	47,934 台/年 (R4年度※1)	○
≪評価指標 3≫ 地区内人口	12,880人 (H29年度)	12,880 人	12,977 人 (R5年度)	○
≪その他の数値指標≫ 地区内の地価の平均値	182,000 円/m ² (H28年度)	—	187,500 円/m ² (R5年度)	↑

※1 評価指標の実績値

⇒一部の指標は現時点で令和5年度の実績値を整理できないため、令和4年度の数値を整理
(次年度にフォローアップ予定)

【目標達成度の凡例】

- 評価値が目標値を上回った場合
- △ 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
- × 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

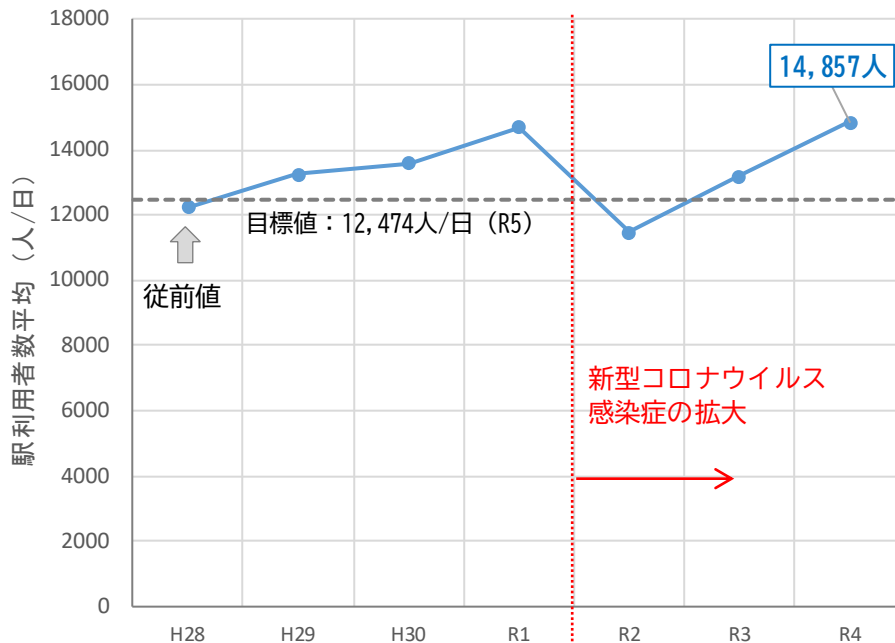
「西山天王山駅の乗降客数」



● **従前値**：12,244人/日（平成28年度年間乗降客数の日平均値）

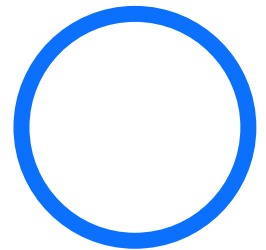
● **目標値**：12,474人/日

- ・ 将来人口推計より、市内や周辺地域の人口は減少すると予想され、それに伴い駅利用者数も減少する可能性が高い
- ・ 利便性や魅力を高める事業の推進により、区域内外からの駅利用者を維持することを目標として設定



● **実績値**：14,857人/日（R4）

- ・ 新型コロナウイルスの影響により一時期乗降客数が大きく減少
- ・ 近年は回復傾向が見られ令和4年度時点で目標値を達成



→ R6. 7月頃に
フォローアップ実施予定

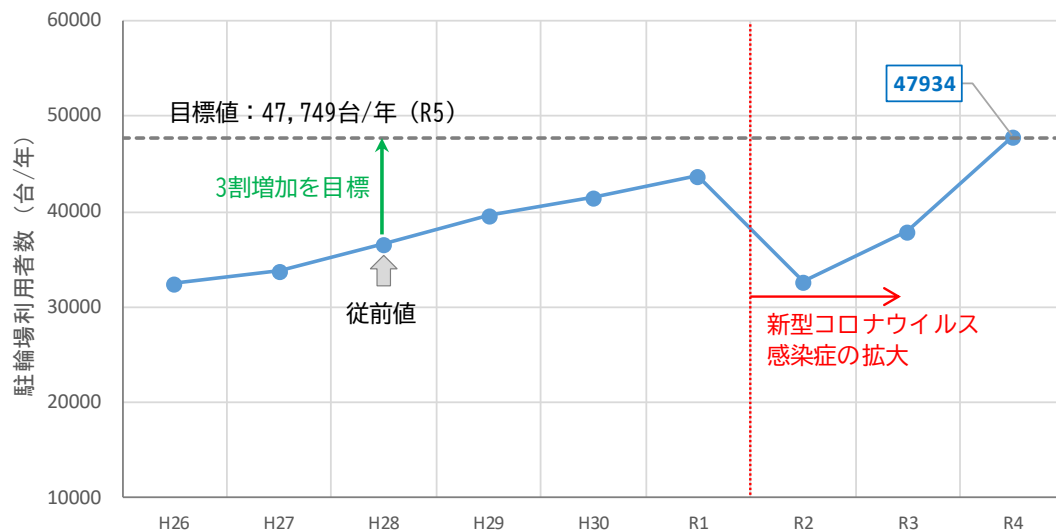
「西山天王山駅東駐輪場の利用者数」



● **従前値 : 36,730台/年** (平成28年度の利用者数)

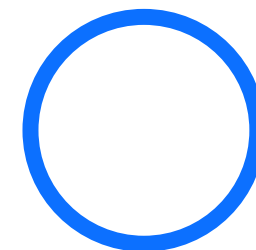
● **目標値 : 47,749台/年** (平成28年度の利用者数の3割増)

- ・ 交通結節機能を強化することで、駐輪場を利用する人の増加も予想される
- ・ 駐輪場を増設することもあり、従前値と比較して3割の利用者増を目標として設定



● **実績値 : 47,934台/年 (R4)**

- ・ 駅周辺整備により交通結節機能が強化され、駐輪場利用者数が増加
- ※計画に含まれる駐輪場はR5年度末完成予定⇒目標値達成には寄与していない



→ R 6 . 7月頃に
フォローアップ実施予定

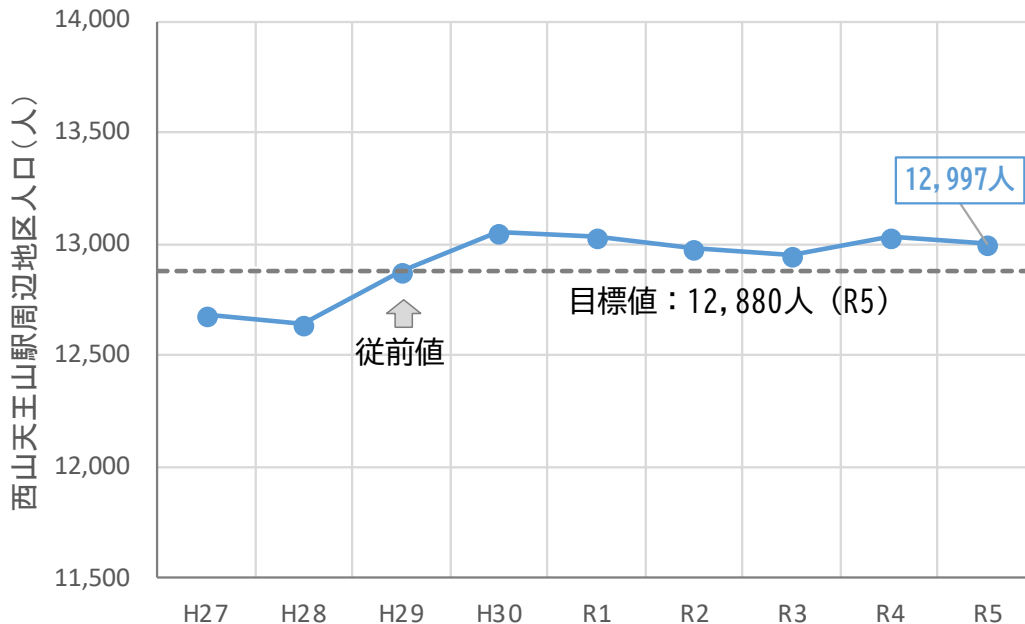
「地区内人口」



● **従前値** : **12,880人** (平成29年4月1日時点の住民基本台帳人口)

● **目標値** : **12,880人** (人口減少させず維持)

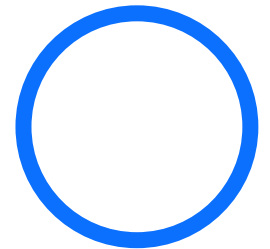
- ・ 計画策定当時、地区内の人口は緩やかに増加していたが、将来人口推計によると令和2年に減少に転じ、令和5年に12,442人まで減少
- ・ 居住誘導区域内への居住誘導により、人口を維持することを目標として設定



● **実績値** : **12,977人 (R5)**

- ・ 道路整備や病院の移転等に伴う地域の利便性向上が人口維持に寄与

【確定値】



その他の指標「地区内の地価の平均値」



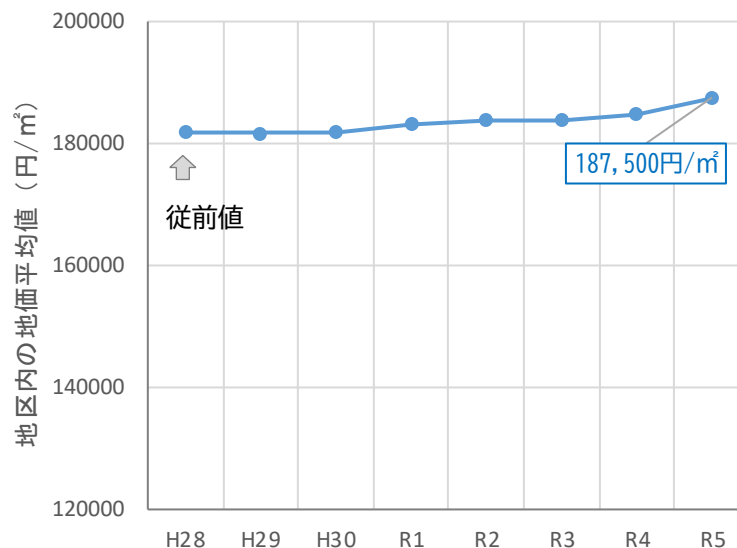
● 従前値 : 182,000円/m² (平成28年度の地価平均値)

- ・ 地域活性化や魅力向上、利便性向上を定量的に評価する指標の1つとして採用
- ・ 地価公示、都道府県地価調査の平均値を「地価の平均値」として算出







● 実績値 : 187,500円/m²

- ・ 地区内の整備により地域の魅力が高まっており、それが地価にも反映されたものと考えられる。
- ・ 地区内でも地価の変化に違いが見られる



成果指標の設定と 達成状況の評価について

指標	従前値 (基準年度)	目標値 (R5年度)	実績値	目標達成度
≪評価指標 1≫ 西山天王山駅の 乗降客数	12,244人/日 (H28年度)	12,474 人/日	14,875 /日 (R4年度※ ¹)	
≪評価指標 2≫ 西山天王山駅 東駐輪場の利用者数	36,730台/年 (H28年度)	47,749 台/年 (H28年度)	47,934 台/年 (R4年度※ ¹)	
≪評価指標 3≫ 地区内人口	12,880人 (H29年度)	12,880 人	12,977 人 (R5年度)	
≪その他の数値指標※ ² ≫ 地区内の地価の平均値	182,000 円/m ² (H28年度)	—	187,500 円/m ² (R5年度)	

「成果指標の設定 と 達成状況の評価
について、適正と認められた」

記載内容

【官民連携による取組】

- ・ 京都済生会病院移転において土地区画整理事業の地権者らとワークショップを重ね、地域と連携しながら事業を推進した

【持続的なまちづくり体制の構築】

- ・ 下海印寺まちづくり協議会により、魅力的なまちづくり実現に向けた活動が継続して実施される予定

意見：

「京都済生会病院の移転に伴い、市のはっぴいバスのルートが再編され、バス利用者が増加している成果についても追記してはどうか」

意見を受け、下記を追記しました

【実施した内容】

- 京都済生会病院との協働や市コミュニティバスのルート再編によって実現した公共交通利用の促進

【実施時期】

- 令和4年6月の病院開業以降～現在まで


【実施内容】

- 京都済生会病院の移転に伴い、市内を走るコミュニティバスの路線を再編するとともに、病院が来院者に対してバス運賃を負担する仕組みを導入したことで、来院者の公共交通分担率が大きく向上し、コミュニティバス自体の認知度や利用者も増加した

【今後の対応方針等】

- 引き続き、京都済生会病院やバス事業者と市との連携を深めながら、さらなる公共交通の利用促進を図っていく


効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名		目標達成貢献度	
指標 1 西山天王山駅の乗降客数 	○	基幹事業	道路	市道4061号線整備事業	
				市道4062号線整備事業	
				市道4103号線歩行空間改良工事	
				市道4110号線歩行空間改良工事	
		地域生活基盤施設	西山天王山駅東駐輪場 増設工事	△	
			デジタルサイネージ 機能拡充	○	
			埋蔵文化財説明板整備事業	○	
		誘導施設	京都済生会病院 移転事業	◎	
			長岡第四小学校建て替え工事		
		関連事業	下海印寺下内田土地区画整理事業		

【目標達成度の凡例】

- ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。


効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名		目標達成貢献度	
指標 2 西山天王山駅 東駐輪場の利用者数 	○	基幹事業	道路	市道4061号線整備事業	
				市道4062号線整備事業	
				市道4103号線歩行空間改良工事	
				市道4110号線歩行空間改良工事	
			地域生活 基盤施設	西山天王山駅東駐輪場 増設工事	△
				デジタルサイネージ 機能拡充	
				埋蔵文化財説明板整備事業	
			誘導施設	京都済生会病院 移転事業	○
				長岡第四小学校建て替え工事	
			関連事業	下海印寺下内田土地区画整理事業	

【目標達成度の凡例】

- ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。


効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名		目標達成貢献度	
指標 3 地区内人口 	○	基幹事業	道路	市道4061号線整備事業	○
				市道4062号線整備事業	○
				市道4103号線歩行空間改良工事	○
				市道4110号線歩行空間改良工事	○
			地域生活 基盤施設	西山天王山駅東駐輪場 増設工事	△
				デジタルサイネージ 機能拡充	○
				埋蔵文化財説明板整備事業	
			誘導施設	京都済生会病院 移転事業	◎
				長岡第四小学校建て替え工事	◎
			関連事業	下海印寺下内田土地区画整理事業	

【目標達成度の凡例】

- ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名		目標達成貢献度	
参考指標： 地区内の 地価公示価格の 平均値 	—	基幹事業	道路	市道4061号線整備事業	○
				市道4062号線整備事業	○
				市道4103号線歩行空間改良工事	○
				市道4110号線歩行空間改良工事	○
		地域生活 基盤施設	西山天王山駅東駐輪場 増設工事	△	
			デジタルサイネージ 機能拡充	○	
			埋蔵文化財説明板整備事業		
		誘導施設	京都済生会病院 移転事業	◎	
			長岡第四小学校建て替え工事	◎	
		関連事業	下海印寺下内田土地区画整理事業		

「効果発現要因の整理
について、適正と認められた」

今後のまちづくり方策

①都市活力の維持・増進

- 拠点機能の集約により構築された効率的なサービス提供体制に基づき、都市活力を維持・増進

〈想定される事業〉 ⇒ アクセス改善に資する事業

- ・ 乗り捨て型シェアサイクルの普及
- ・ バス停待合環境の向上
- など

②地域交流の更なる活性化

- 地域資源・観光資源の魅力や価値を発信し、地域交流をさらに促進

〈想定される事業〉

- ・ 地域の魅力発信パートナー掘り起し
- ・ 観光資源の魅力を伝える素材の集積・拡散

③道路整備の継続

- 幅員の狭い生活道を中心とした歩行空間の改良を継続

〈想定される事業〉

- ・ 市道改良事業の継続
- ・ その他補助メニューの活用

「今後のまちづくり方策」に対する委員意見：①



「乗り捨て型シェアサイクルは日本人に馴染みにくい制度のように感じる。

本市の状況では、まちなかでの一時駐輪場の拡充整備などを行っていくことで、市内の自転車での移動円滑化に一層寄与できるのではないかと

「今後のまちづくり方策」に対する委員意見：②

〈案内板整備事業に関して〉



「サイネージ等の機能拡充などにより観光案内機能が充実したことは良いことである。

次の展開として、駅から観光地・観光地から観光地を連続的に案内するような、広域のサイン計画やネットワーク展開が今後必要ではないか」

**専門部会での意見を受け、
追記しました**



【効果を持続させるために行う方策】

<想定される事業>

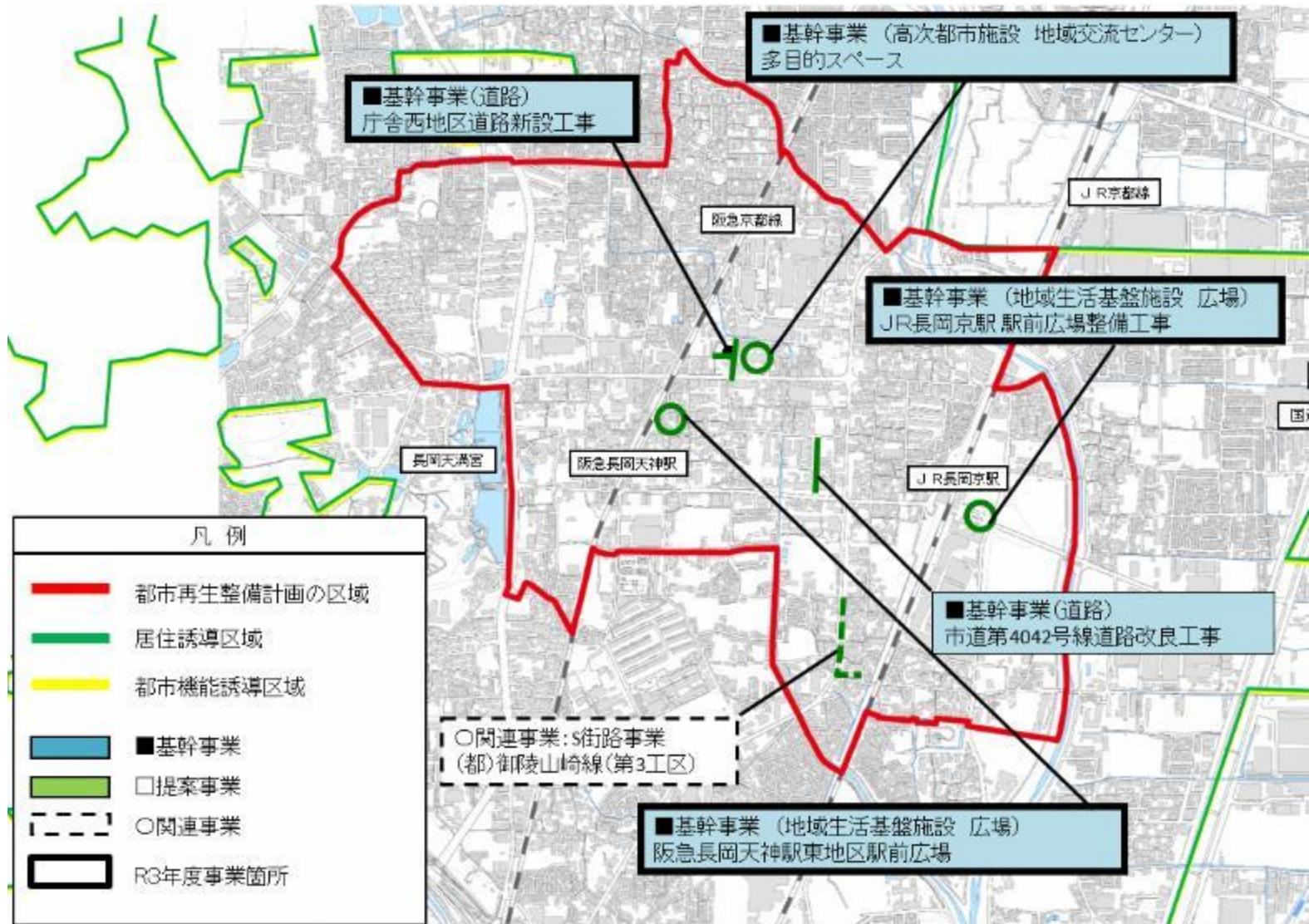
- まちなかでの駐輪場の拡充・整備 **【NEW】**
- 地区内の見どころを結び付け周遊を促す観光ルートの提案・発信 **【NEW】**

- ① 都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区」について
- ② 事後評価部会での審議内容について
- ③ 都市再生整備計画「都心ゾーン地区」について**
- ④ 専門部会での審議内容について
- ⑤ 今後の流れについて

「都心ゾーン地区」都市再生整備計画

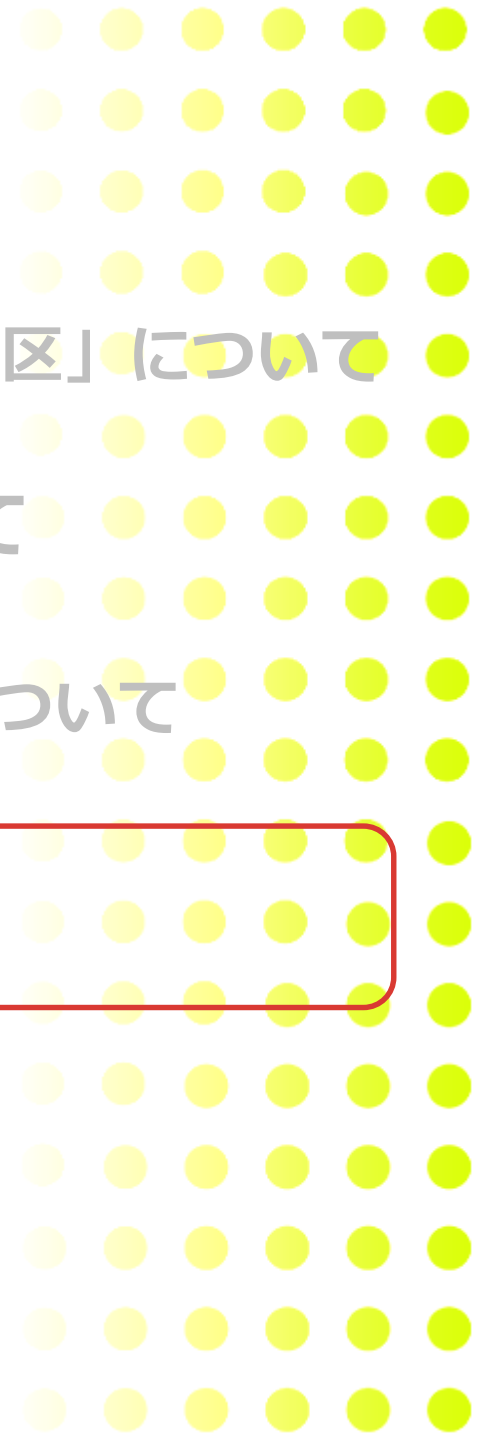
■ 計画期間 令和2年度～令和4年度

計画区域面積 = 173ha







都心ゾーン地区 について






- 
- ① 都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区」について
 - ② 事後評価部会での審議内容について
 - ③ 都市再生整備計画「都心ゾーン地区」について
 - ④ 専門部会での審議内容について**
 - ⑤ 今後の流れについて

評価指標と達成状況

指標	従前値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	目標達成度
≪評価指標1≫ 地区内人口	17,362人	17,362人	17,498人	
≪評価指標2≫ JR長岡京駅・阪急長岡 天神駅の平均乗客数	35,895人/日	35,895人/日	29,987人/日	
≪評価指標3≫ 広場活用イベント 開催回数	131回/年	154回/年	158回/年	
≪その他の数値指標≫ 地区内の地価の平均値	228,375円/m²	—	256,125円/m²	

【目標達成度の凡例】

-  評価値が目標値を上回った場合
-  評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
-  評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

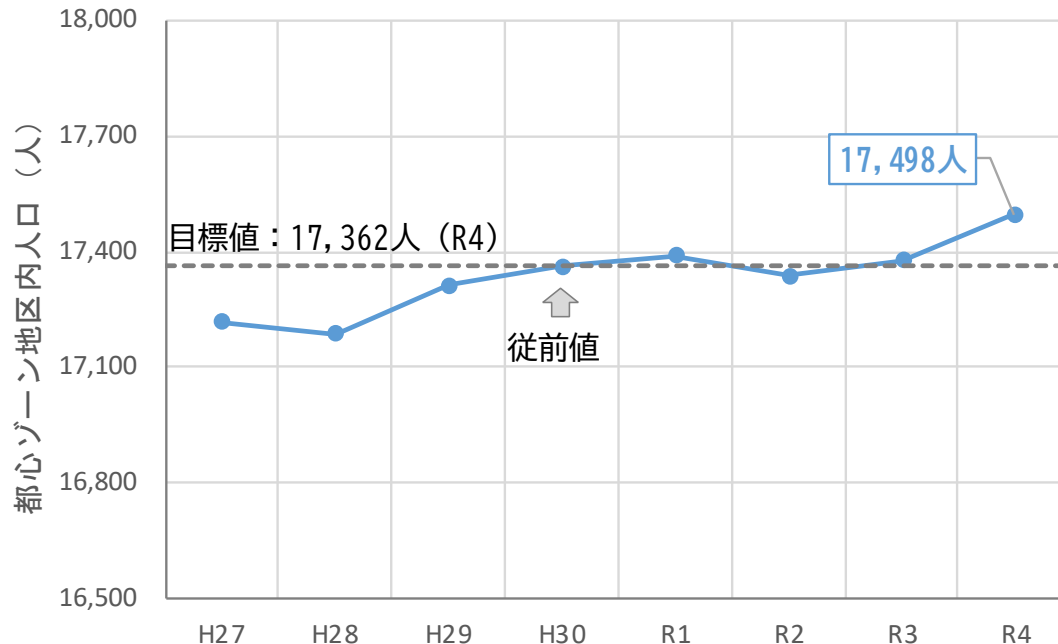
「地区内人口」



● **従前値**：17,362人（平成30年10月1日時点の住民基本台帳人口）

● **目標値**：17,362人（人口減少させず**維持**）

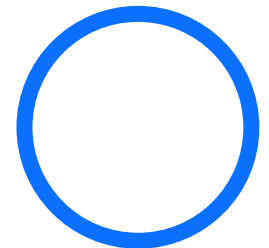
- ・ 計画策定時の将来人口推計によると、令和4年時点の地区内人口は17,018人まで減少
- ・ 魅力あふれるまちづくり、居住誘導区域内への居住誘導により、人口を維持することを目標として設定



● **実績値**：17,498人

- ・ 目標としていた人口維持だけでなく、長期的な人口増加の傾向を維持

【確定値】



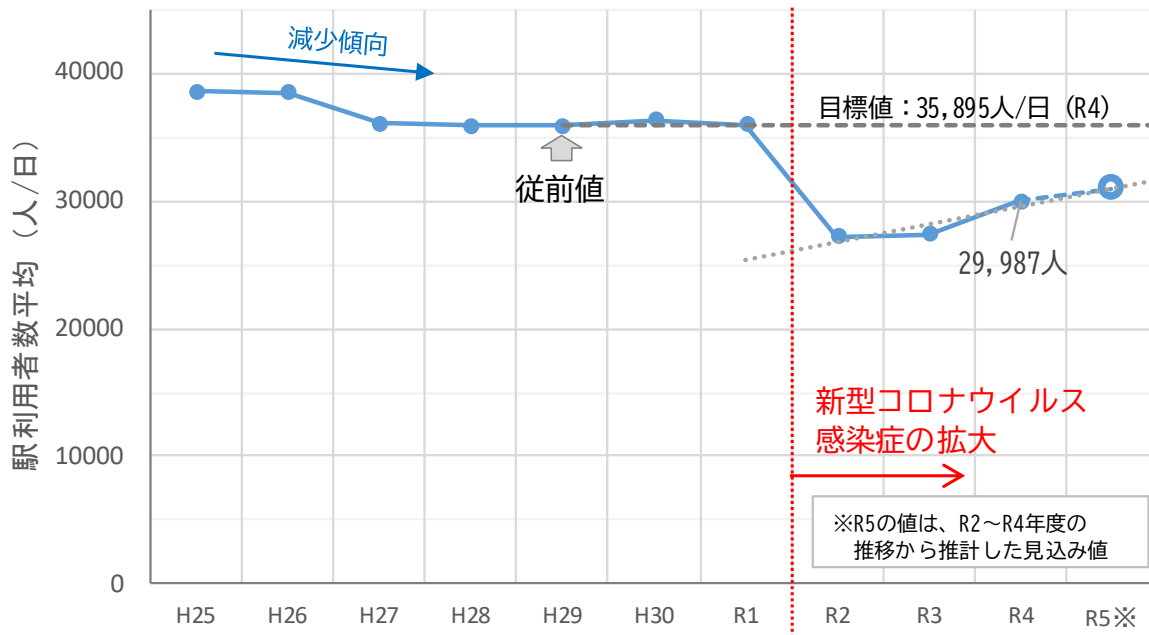
「JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数」



● **従前値** : 35,895人/日 (平成29年度年間乗客数の日平均値)

● **目標値** : 35,895人/日 (減少させず**維持**)

- ・各駅の乗客数は平成25年度をピークに減少傾向
- ・賑わいや魅力を高める事業の推進により、区域内外からの駅利用者を維持することを目標として設定



● **実績値** : 29,987人

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少
- ・改善傾向はみられるものの**目標値には届かず**、次年度にも目標達成の見込みは無い

【**確定値**】



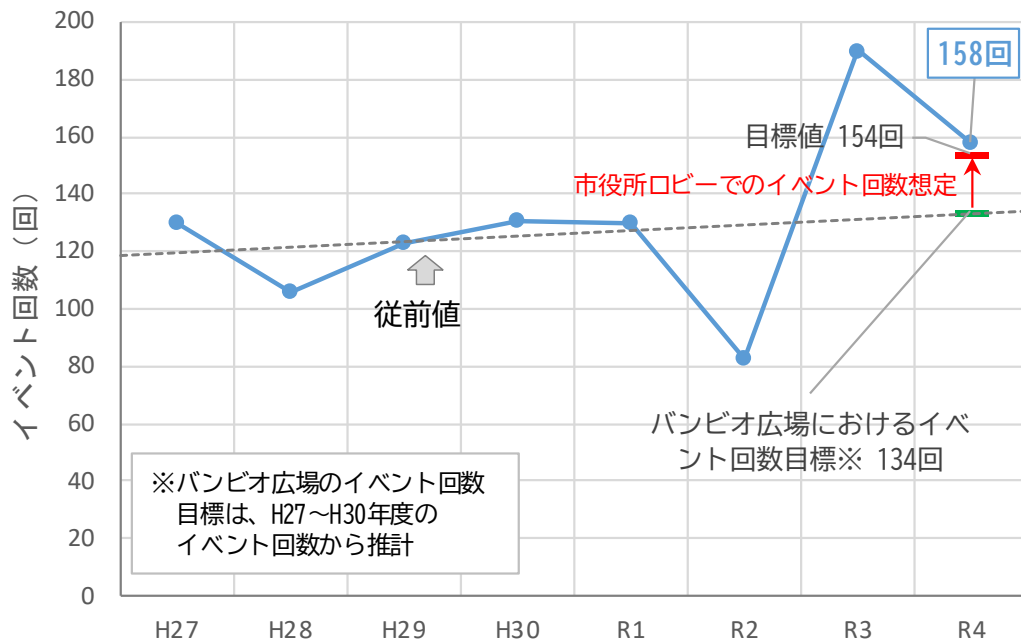
「地区内のイベント回数」



● **従前値 : 131回** (バンビオ広場における平成30年度のイベント回数)

● **目標値 : 154回** (バンビオ広場+市役所新庁舎ロビーでのイベント回数)

- ・バンビオ広場における市民の活動の広がり、および市役所新庁舎ロビー等におけるイベント実施を想定して目標を設定

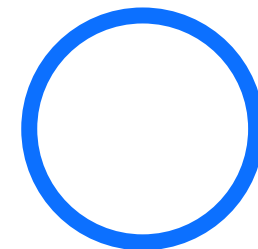


● **実績値 : 158回**

- ・バンビオ広場において従前値以上 (146回) のイベントを実施するとともに、市役所ロビーでも12回のイベントを実施

※市役所ロビーのイベント回数は供用開始後の約3か月間 (令和5年1月~3月) の集計値

【確定値】



その他 の指標 「地区内の地価の平均値」



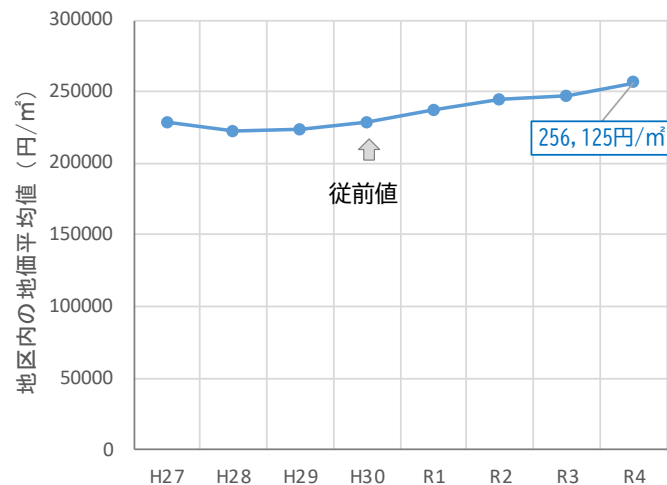
● 従前値 : 228,375円/m² (平成30年度の地価平均値)

- ・ 地域活性化や魅力向上、利便性向上を定量的に評価する指標の1つとして採用
- ・ 地価公示、都道府県地価調査の平均値を「地価の平均値」として算出



● 実績値 : 256,125円/m²

- ・ 地区内の整備により地域の魅力が高まっており、それが地価にも反映されたものと考えられる。
- ・ 特にJR～阪急京都線間のエリアの地価が大きく上昇している




成果指標の設定と 達成状況の評価について





指標	従前値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	目標達成度
《評価指標 1》 地区内人口	17,362人	17,362人	17,498人	
《評価指標 2》 JR長岡京駅・阪急長岡 天神駅の平均乗客数	35,895人/日	35,895人/日	29,987人/日	
《評価指標 3》 広場活用イベント 開催回数	131回/年	154回/年	158回/年	
《その他の数値指標》 地区内の地価の平均値	228,375円/m ²	—	256,125円/m ²	

「成果指標の設定 と 達成状況の評価
について、適正と認められた」


効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名			目標達成貢献度
指標 1 地区内人口 	○	基幹事業	道路	庁舎西地区道路新設工事	○
				市道第4042号線道路改良工事	○
			地域生活 基盤施設	J R長岡京駅東口駅前広場整備工事	○
				阪急長岡天神駅東口駅前広場	○
		高次都市 施設	多目的スペース	○	
		関連事業	(都) 御陵山崎線 (第3工区)	○	

【目標達成度の凡例】

- 
 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- 
 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- 
 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 
 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。


効果発現要因の整理

指標	目標達成度	事業名・箇所名			目標達成貢献度
指標 3 広場活用イベント 開催回数 	○	基幹事業	道路	庁舎西地区道路新設工事	
				市道第4042号線道路改良工事	
			地域生活 基盤施設	J R長岡京駅東口駅前広場整備工事	△
				阪急長岡天神駅東口駅前広場	
		高次都市 施設	多目的スペース	◎	
		関連事業	(都) 御陵山崎線 (第3工区)		





【目標達成度の凡例】

- ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

効果発現要因の整理


指標	目標達成度	事業名・箇所名		目標達成貢献度	
参考指標： 地区内の 地価公示価格の 平均値 	—	基幹事業	道路	庁舎西地区道路新設工事	○
			道路	市道第4042号線道路改良工事	○
			地域生活 基盤施設	J R長岡京駅東口駅前広場整備工事	○
				阪急長岡天神駅東口駅前広場	○
		高次都市 施設	多目的スペース	○	
		関連事業	(都) 御陵山崎線 (第3工区)	○	

【目標達成度の凡例】

-  事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
-  事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
-  事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
-  事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

効果発現要因の整理（達成できなかった項目に関して）

指標	従前値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)
≪評価指標2≫ JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	35,895人/日	35,895人/日	29,987人/日

指標	要因分類	事業名・箇所名		目標達成 貢献度	
指標2 JR長岡京駅・ 阪急長岡天神駅の 平均乗客数 	Ⅲ (外的で 予見不可能 な要因によ るもの)	基幹事業	道路	序舎西地区道路新設工事	
			道路	市道第4042号線道路改良工事	
			地域生活 基盤施設	J R長岡京駅 駅前広場整備工事	△
				阪急長岡天神駅東地区駅前広場	△
		高次都市 施設	多目的スペース	↑	
関連事業	(都) 御陵山崎線 (第3工区)				



数値目標が達成できなかった中でも
ある程度の効果をあげたと思われる

「JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の 平均乗客数」



数値目標が達成できなかった中でも
ある程度の効果をあげたと思われる

- 交通結節点機能は強化が進んだものの、
新型コロナウイルスの流行拡大により鉄道利用者数が
大きく低下した



分類 III

外的で、予見が不可能な
要因による未達成

改善の方針

- 新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化を踏まえつつ、駅前にぎわい創出・公共交通の利用促進を図り、交通結節点機能の強化を継続していく

「達成できなかった成果指標」に対する委員意見:



「駅乗降客数が目標に達しなかった背景には、
コロナ感染症の感染拡大による外出控えとともに、
阪急西山天王山駅がH26に開業したことにより
各駅の利用客の構造が変化した影響もあるのではないか」

今後のまちづくり方策

①市民活動の場の拡大

- 第2期計画において一般の個人・団体等が利用できる空間を整備

〈想定される事業〉

- ・ 市役所新庁舎2期庁舎への貸会議室や貸ホール整備

②地区内の道路空間の整備の継続

- 地区内の道路空間の整備を第2期計画置いても継続

〈想定される事業〉

- ・ 地区内における側溝、舗装等の道路空間の改良

③駅前広場整備による駅へのアクセス性と賑わいの向上

- 駅前広場に必要な施設等の検討及び整備により、駅の利便性や賑わいを向上

〈想定される事業〉

- ・ JR長岡京駅にぎわい広場の検討及び整備
- ・ 高水準な公衆トイレ整備

「今後のまちづくり方策」に対する委員意見：



新庁舎1階 市民ロビーの様子

「新庁舎1階ロビーを整備したことで、市民イベント開催が増えている様子が見て取れる。

市民活動の輪が広がるためには、その器となるハード整備を先行していくことも大切。本市の市民活動がより活発化するよう、引き続きハード整備を進めていただきたい」 → 2期計画へ継承

両地区に共通する事項

- 原案公表の妥当性について
- 今後のまちづくりへの反映

事後評価原案の公表の妥当性 について

ホームページでの公表・意見の受付 【9月25日～10月13日】

▶ 「都市再生整備計画 事後評価 原案」公表について

- 長岡市では、中心市街地におけるにぎわいの増進等を目指して「都市再生整備計画」を策定し、国庫補助金を活用しながら道路や公園などの都市インフラ整備を進めています。
- 都市再生整備計画に基づく事業を実施する上では、計画の最終年度もしくは最終年度の翌年度に、当初に設定した成果指標が達成されたかどうか、または整備効果がどのように発現したかを振り返る「事後評価」を実施し、公表していくことが義務づけられています。
- 本市では今年度、都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区（平成30年度～令和5年度）」と「都心ゾーン地区（令和2年度～4年度）」の2地区分の事後評価を実施しています。
- この度、これら2地区分についての「事後評価原案」をとりまとめたので公表します。意見がある場合は、下記の方法によりお寄せください。
- 皆様からいただいた意見は、要旨を受け止めた上で素案に反映し、外部委員会での審議に諮っていきます。
- ご意見に対する個別の回答はいたしません。
- 最終的にどのような事後評価としてとりまとめたかは、市ホームページ上で公表していきます。

事後評価の対象とした都市再生整備計画

（最新の変更分を掲載しています）

西山天王山駅周辺地区（第3回変更）PDF形式、6.65MB

交通結節点という新たな機能を活用したコンパクトで魅力あるまちづくりの推進を目的に、令和元年度から令和5年度に事業を実施します。

都心ゾーン地区（第2回変更）.pdf サイズ：1.76MB

利便性の高さを享受できる魅力あふれるまちづくりの推進を目的として、令和2年度から令和4年度に事業を実施します。

広報紙でも原案公表を周知 【長岡京ライフ 10月号】



乙訓寺で2例目
国の重要文化財指定！

都市再生整備計画
事後評価原案を公表中

にぎわいのある中心市街地づくりを目指した「都市再生整備計画」の、効果や達成度を振り返る「事後評価」の原案を策定しました。市役所や市ホームページなどで公表しています。

▶ 公表期間 = 10月13日（金）まで

市HPへ

問 まちづくり政策室

長岡天神駅周辺整備担当

☎ 955-9719 ファク 951-5410

＜今月号には＞
乙訓寺の「木造十一面観音立像」が国重要文化財に指定されました。約750年の時を経て境内から見つかった「あるもの」がきっかけに…！ p.2-5で紹介します。

事後評価原案の公表の妥当性

市民への公表方法

公表方法：ホームページ、広報紙、執務室

公表資料：事後評価書（原案）、都市再生整備計画

公表期間：令和5年9月25日～令和5年10月13日まで（約3週間）

意見の提出方法：郵送、ファックス、電子メール、持参

市民からの反応

・HP閲覧数：83件 ・窓口での閲覧希望：1件 ・意見数：0件

「事後評価原案の公表方法 についても、適正である」

次期計画へのまちづくり経験の活用

■うまくいった点

- 数値化が容易な要素を指標として設定
⇒事業の評価を明確に実施
- 事業内容と直結する指標を設定（イベントの開催回数、駐輪場の利用者数）
⇒整備の効果をダイレクトに評価
- ワークショップや意見交換会を実施
⇒地域の意向を十分に反映させながら事業を推進

■うまくいかなかった点

- 事業中間年度などでのモニタリングは実施しなかった
⇒社会情勢の変化があった際に、影響の予測や評価指標の見直しを行えたかも

経験を活かし、次期計画において効率的・効果的に事業を実施

第二期 都心ゾーン地区 都市再生整備計画

(令和5年～9年)

第2期 都心ゾーン地区 (R5~9)

第2次都心ゾーン地区 基幹事業

- 市内5路線 市道 歩行空間改良事業
- JR長岡京駅東口 にぎわい広場・多用途トイレ 整備事業
- 埋蔵文化財・観光案内板 整備事業 (勝竜寺城周辺)
- 八条ヶ池観光案内板 整備事業
- 八条ヶ池 堤部 歩道改良事業
- 新庁舎2期庁舎 貸ホール・貸会議室等 整備事業



複数事業の追加を、国と協議中…

- ① 都市再生整備計画「西山天王山駅周辺地区」について
- ② 事後評価部会での審議内容について
- ③ 都市再生整備計画「都心ゾーン地区」について
- ④ 専門部会での審議内容について
- ⑤ 今後の流れについて**

今後の流れについて

2月1日

まちづくり審議会での原案の承認

3月内

事後評価の公表・国へ報告

7月ごろ

西山天王山駅周辺地区
フォローアップ観測

R9年度に
かけて

次期計画（第2期都心ゾーン地区）に基づく整備



都市再生整備計画

西山天王山駅周辺地区 ・ 都心ゾーン地区

の事後評価（修正版）について

ご審議いただきありがとうございました

都市再生整備計画 事後評価シート
西山天王山駅周辺地区

令和6年2月

京都府長岡京市

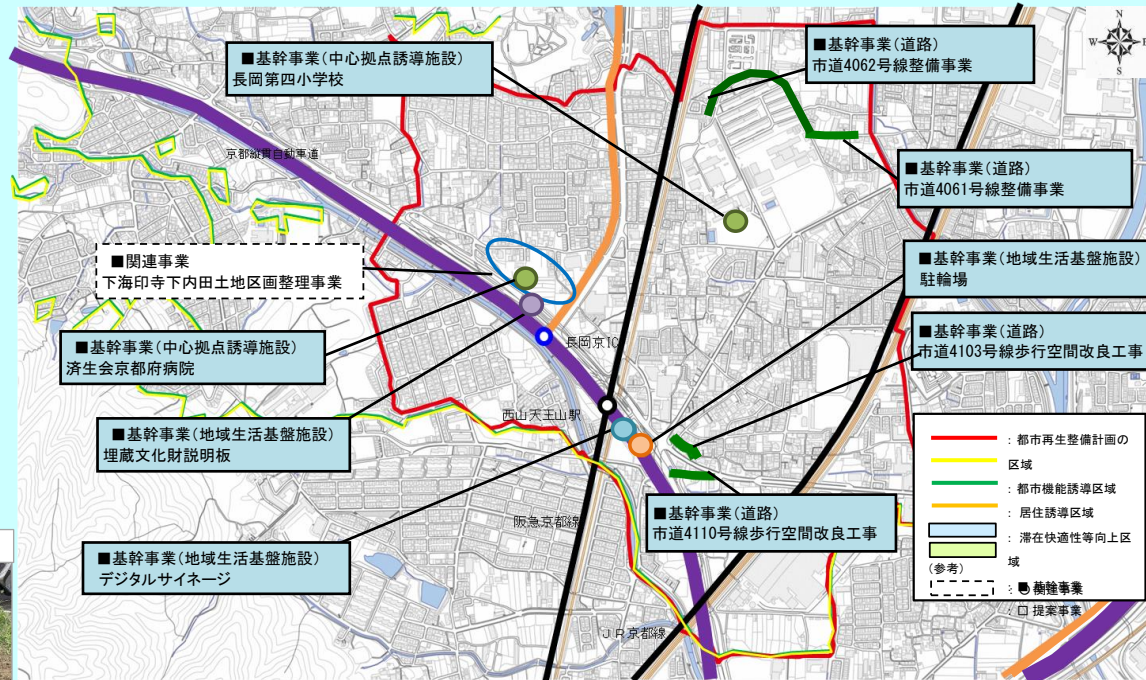
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	長岡京市	地区名	西山天王山駅周辺地区			面積	167ha			
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	3,622.6百万円	国费率	0.471					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(道路)市道4061号線整備事業、市道4062号線整備事業、市道4103号線歩行空間改良工事、市道4110号線歩行空間改良工事 (地域生活基盤施設)P&R駐車場、デジタルサイネージ、埋蔵文化財説明板 (誘導施設) 済生会京都府病院									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	(地域生活基盤施設)P&R駐車場	P&R駐車場整備の見通しが立たなくなったため、第3回変更(令和4年10月)にて計画から削除。		指標の一部変更。「指標2:P&R駐車場の利用件数」を削除し、「阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数」に変更						
	新たに追加した事業	基幹事業	(誘導施設)長岡第四小学校校舎建て替え工事	小学校を誘導施設として整備するための国との協議が整ったため、第2回変更(令和3年10月)にて追加。		影響なし						
基幹事業		(地域生活基盤施設)駐輪場:阪急西山天王山駅東駐輪場増設整備	駅隣接地に用地が確保できたことにより駐輪場を増設できる見込みが立ったため、第3回計画変更(令和4年10月)にて追加。		計画から削除した「P&R駐車場整備事業」に代わり、「指標2:阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数」として新たに指標とした							
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	12,244	H28	12,474	R5	14,857	○	あり なし	駅直結の地域中核医療施設として「京都済生会病院」の移転を実現したことなどにより、公共交通の利用促進につながった。	
	指標2	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	台/年	36,730	H28	47,749	R5	47,934	○	あり なし	各整備事業の実施による利便性の向上により駅乗降客数が増加し、結果として駐輪場の利用者数を増加させることができた。	
	指標3	地区内人口	人	12,880	H29	12,880	R5	12,977	○	あり なし	駅周辺の道路整備、病院の移転、小学校の再整備等による安心・安全で良好な住環境の形成により、地区内の人口を維持することができた。	
	指標4											
	指標5											
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/m ²	182,000	H28			187,500			地点ごとに異なる変化が見られたものの、地区内の地価の平均値は計画期間終了後にはわずかに増加していた。病院移転等により地区の住みやすさが向上したことが一因と考えられる	
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	・京都済生会病院の駅直結地への移転を実現したことで、病院の利用者からは「非常に通院しやすくなった」との声が寄せられている。また、移転に伴い病床数や医療設備・診療科目も拡充され、新型コロナウイルス対応病床も拡充されるなど、地域の医療拠点として乙訓地域全体の医療体制の質の向上につながっている。 ・デジタルサイネージによる観光案内や、文化財説明板の整備、駐輪場の増設などにより地域の観光資源にアクセスしやすい体制を整備したことで、西山天王山駅を基点とする地域観光ルート開拓が進んだ。地区内ではウォーキングやサイクリングで観光を行う人の姿が以前より多く見られるようになっている。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	下海印寺下内田土地区画整理組合による京都済生会病院移転に向けたワークショップ等			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 土地区画整理事業による保留地の創出により京都済生会病院の移転が実現。病院の移転・開業を迎えたことで、当組合の事業目的は達せられ、組合は無事解散を迎えている。			
	持続的なまちづくり体制の構築	下海印寺まちづくり協議会による定期集会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 西山天王山駅周辺を含む市南部の魅力的な街づくりの実現に向け、同協議会による定期的な勉強会・地域清掃活動が今後も継続して続けられる予定である。			

様式2-2 地区の概要

西山天王山駅周辺地区(京都府長岡京市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 交通結節点という新たな機能を活用したコンパクトで魅力あるまちづくりの推進 目標① 人々の交流を促し、都市活力の増進 目標② 広域交通拠点の特徴を活かした公共交通の利用促進 目標③ 生活環境の充実及び情報発信機能の強化によるまちの魅力向上	西山天王山駅の乗降客数	単位: 人/日	12,244 H28	12,474 R5	14,857 R4
	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	単位: 台/年	36,730 H28	47,749 R5	47,934 R4
	地区内人口	単位: 人	12,880 H29	12,880 R5	12,997 R5
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会を迎える中、京都済生会病院や地域コミュニティの核としての長岡第四小学校建て替え事業を実施したことで、医療や福祉・防災・教育・地域活動拠点機能などが集約して発揮されるようになり、効率的なサービス提供体制の構築に繋がっている。その結果、都市活力の維持・増進が今後も図られていくことが見込まれる。 ・各整備の結果、西山天王山駅を中心とした鉄道・自転車・自家用車・バス・高速バスの交通結節点機能が一層強化され、駅を起点とした観光ルートなどの開拓が進み、地域交流が促進された。 ・市道の各整備事業を通じて、バリアフリー化や安全な歩行空間の確保が進み、高齢者や子供・学生・子育て世代などが安心して通行・生活できる環境の創出につながっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として歩道幅員が狭い生活道が多く存在しているため、引き続き歩行空間の改良に繋がる道路整備などの継続が求められる。 ・地区内に点在する地域資源・観光資源について、その魅力や価値を市内外に広く発信する取り組みを継続することで、さらなる都市活力の増進や人流の拡大を生み出していく必要がある。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定の地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)	目標達成度※2	1年以内の達成見込みの有無				
			基準年度		基準年度	基準年度	目標年度				あり	なし			
指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	長岡京市統計書により公開されているデータを整理。近年の傾向から令和5年度の数値を推計することは困難であるため、令和4年度のデータを評価値とした。	7,853	H26	12,244	H28	12,474	R5	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	14,857	事後評価	○	
指標2	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	台/年	西山天王山駅東自転車駐車場の稼働状況のデータを整理。近年の傾向から令和5年度の数値を推計することは困難であるため、令和4年度のデータを評価値とした。	32,505	H26	36,730	H28	47,749	R5	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	47,934	事後評価	○	
指標3	地区内人口	人	住民基本台帳より街区別人口データを収集し、地区内の人口を算出。街区内に地区の境界がある場合、面積按分により推計。	12,111	H19	12,880	H29	12,880	R5	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	12,977	事後評価	○	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新型コロナウイルスの影響により一時期乗降客数が大きく減少したが、近年は回復傾向が見られ目標値の達成が見込まれる。	・西山天王山駅は平成25年12月に開業。
指標2	駅周辺が整備され交流結節機能が強化され、駐輪場利用者数が増加した。	・計画に含まれる自転車駐輪場(収容台数100台程度を予定)は令和5年度末の完成予定となっており、目標値の達成は、駐輪場増設工事以外の周辺整備による地域活性化効果による所が大きいと考えられる。
指標3	平成28年度から30年度にかけて人口増加が見られた後、13,000人前後で推移し目標が達成されている。道路整備、病院の移転等に伴う地域の利便性向上が寄与していると考えられる。	・従前値および目標値は各年4月1日の人口を整理。計画以前の値は10月1日の値を整理。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)		
			基準年度		基準年度	基準年度					
その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/㎡	地区内に位置する標準地・基準地における地価(地価公示・地価調査)の平均値を、国土数値情報(地価公示・都道府県地価調査)より集計。	177,667	H18	182,000	H28	モニタリング		居住環境を総合的に評価した指標として地価が用いられることがあるため	・当該地周辺の居住環境のみでなく、全国的な景気動向によって当該数値が増減する傾向にある。 ・標準地と基準地が同じ場合は標準地(地価公示価格)を参照。
								事後評価	確定見込み ●		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

<p>・京都済生会病院の駅直結地への移転を実現したことで、病院の利用者からは“非常に通院しやすくなった”との声が寄せられている。また、移転に伴い病床数や医療設備・診療科目も拡充され、新型コロナウイルス対応病床も拡充されるなど、地域の医療拠点として乙訓地域全体の医療体制の質の向上につながっている。</p> <p>・デジタルサイネージによる観光案内や、文化財説明板の整備、駐輪場の増設などにより地域の観光資源にアクセスしやすい体制を整備したことで、西山天王山駅を基点とする地域観光ルート開拓が進んだ。地区内ではウォーキングやサイクリングで観光を行う人の姿が以前より多く見られるようになっている。</p>
--

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
下海印寺下内田土地区画整理組合による 京都済生会病院移転に向けたワークショップ等	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施回数】17回以上 【実施時期】平成30年度～令和3年度 【実施結果】平成30年10月26日の組合設立以降、京都済生会病院の移転実現に向けて会合やワークショップの開催を重ねながら、本市の地域医療拠点の円滑な移転に向けた土地区画整理事業を連携して推進した。	土地区画整理事業による保留地の創出により京都済生会病院の移転が実現。病院の移転・開業を迎えたことで、当組合の事業目的は達せられ、組合は無事解散を迎えている。
京都済生会病院との協働や市コミュニティバスのルート再編によって実現した公共交通利用の促進	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施時期】令和4年6月の病院開業以降～現在まで 【実施内容】京都済生会病院の移転に伴い、市内を走るコミュニティバスの路線を再編するとともに、病院が来院者に対してバス利用料を補助する仕組みを導入したことで、来院者の公共交通分担率が大きく向上し、コミュニティバス自体の認知度や利用率も増進した	引き続き、京都済生会病院やバス事業者と市との連携を深めながら、さらなる公共交通の利用促進を図っていく

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
下海印寺まちづくり協議会による定期集会の開催	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	下海印寺地域の良好な住環境や安全・安心なまちづくりの実現に向けて、地域や行政と協働しながら取り組む。	下海印寺まちづくり協議会	西山天王山駅周辺を含む市南部の魅力的な街づくりの実現に向け、同協議会による定期的な勉強会・地域清掃活動が今後も継続して続けられる予定である。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課 文化財保存活用課、健康づくり推進室、 商工観光課、交通政策課	令和5年5~7月	まちづくり政策室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
生活サービス施設の集約と効率的な サービス提供による都市活力の維持増 進、および魅力あるまちづくりの推進	・少子高齢化社会を迎える中、高度医療施設や地域コ ミュニティの核としての小学校建て替え事業を実施した ことで、医療や福祉・防災・教育・地域活動拠点機能な どが集約して発揮されるようになり、効率的なサービス 提供体制の構築に繋がった。		
各観光施設への移動・案内などの情報 提供充実による地域交流の活性化、お よび公共交通の乗換の円滑化と利用し やすい環境整備	・各整備の結果、西山天王山駅を中心とした鉄道・自 転車・自家用車・バス・高速バスの交通結节点機能が 一層強化され、駅を起点とした観光ルートなどの開拓 が進み、地域交流の促進が促された。		地区内の各観光スポットや名所を解説する看板自体は 充実しつつあるが、それらを結びつけ機能的に誘導す るサイン計画の策定や観光ルートの提案などを複合的 に実施していくことが望ましい
歩行空間の整備・バリアフリー化による 誰もが安心して通行できる環境整備	・市道の各整備事業を通じて、バリアフリー化や安全な 歩行空間の確保が進み、高齢者や子供・学生・子育て 世代などが安心して通行・生活できる環境の創出につ ながっている。	・依然として地域内に歩道幅員が狭い生活道が多く存在する。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり
方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	都市活力の維持・増進	・拠点機能の集約により構築された効率的なサービス提供体制に基づ き、今後も都市活力の維持・増進を図る。	・機能集約拠点へのアクセス改善に資する事業 ・乗り捨て型シェアサイクルの普及 ・バス待ちあい環境の向上 ・まちなかの駐輪場の拡充・整備 など
地域交流の更なる活性化	・地域内に点在する地域資源・観光資源の魅力・価値の発信を継続し、地 域交流の更なる促進を図る。	・地域に滞在する魅力発信者の誘い起し ・地区内の観光資源の魅力を広げる等質素材のフリー 配布・集積サイトの構築 ・地区内の見どころを結び付け周遊を促す観光ルートの 提案・発信 など	
B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	道路整備の継続	・幅員の狭い生活道を中心として、歩行空間の改良につながる道路整備 などを継続する。	・市道改良事業の継続 ・その他補助メニューなどの活用

・未達成の目標を達成するための改善策
・未解決の課題を解消するための改善策
・新たに発生した課題に対する改善策

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の委託先(関係機関)と連携(添付様式3)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-④ 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に問わず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年
以内の達成見込み(あり)の指標については、確定値を求めたためのフォ
ローアップ計画を記入して下さい。

指標	単位	従前値		目標値		評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込みの 有無	フォローアップ計画				
		年度	年度	年度	年度	測定方法	計測方法			その他特記事項				
指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	12,244	H28	12,474	R5	確定 見込み	●	14,857	○	あり なし	令和6年7月	令和5年4月～令和6年3月の乗降客数を 確定値として集計する。	
指標2	西山天王山駅東駐輪場の 利用者数	台/年	36,730	H28	47,749	R5	確定 見込み	●	47,934	○	あり なし	令和6年7月	令和5年4月～令和6年3月の利用者数を 確定値として集計する。	
指標3	地区内人口	人	12,880	H29	12,880	R5	確定 見込み	●	12,977	○	あり なし			
その他の 数値指標1	地区内の地価の平均値	円/㎡	182,000	H28			確定 見込み	●	(185,000) R4平均値					

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	明確に数値として集計できる要素を指標としたことで、達成度合いの評価が明確に行えた。	他地区で実施する際にも、数値化できる指標を積極的に採用していきたい。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	駐輪所の利用者数などは、整備内容と直結した指標であるため、整備効果がダイレクトに評価できた	引き続き、整備内容をダイレクトに反映できる数値目標の設定を心掛ける。 「地区内人口」については、左記の通り複合的な要因により増減する性質は一定有るものの、その地域の持つ活力や地域経済規模を如実に表した指標ととらえることが出来るので、他地区においても指標の一つとして継続して採用する。
	うまく いかなかった点	「地区内人口」などは、地区内での宅地開発やマンション建設などの複合的な要因で数値が増加した側面もあった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	病院移転に向けた土地区画整理事業を進める中で、ワークショップ等を数多く実施したことにより、地域意向を十分に反映した整備ステップを踏むことができた。	住民に身近な事業の実施にあたっては、ワークショップ等を積極的に実施し、地域と連携したまちづくりを推進する。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		以降の計画においては、大きな社会的変化が生じた場合には、事業実施期間中にモニタリングを実施することも検討し、必要に応じて整備計画の変更や評価指標の変更等の対応を行う。
	うまく いかなかった点	事業実施期間中のモニタリングを行わなかったため、社会情勢の変化(新型コロナウイルス感染症の拡大等)を評価指標等に反映させることができなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

■今後、事後評価を予定する地区

本市では、令和5年から令和9年を計画期間とする「第二期都心ゾーン地区 都市再生整備計画」に基づく事業を進めている。計画の評価にあたっては、本地区における事後評価の経験を活かし、効率的・効果的な事後評価の実施を目指す。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和5年9月25日～10月13日	令和5年9月25日～10月13日	担当課への電話、 FAX、電子メール	まちづくり政策室
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	長岡京LIFE 10月号 (令和5年10月1日発行)	令和5年9月25日～10月13日		
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見無し				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	大田 直史(龍谷大学教授) 佐伯 康介(元京都市交通政策監)	令和5年12月4日	まちづくり政策室	長岡京市まちづくり条例	長岡京市まちづくり審議会
その他の委員	横山 雅宏(市民公募委員)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・適正であると確認された
	成果の評価	・適正であると確認された
	実施過程の評価	・適正であると確認された
	効果発現要因の整理	・適正であると確認された
	事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると確認された
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当に進められたことが確認された
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・地区内の各観光スポットや名所を解説する看板自体は充実しつつあるが、それらを結びつけ機能的に誘導するサイン計画やルート提案などを複合的に実施していくことが望ましい ・今後市が整備を検討している「乗り捨て型シェアサイクル」については、他市での普及状況や整備に伴う弊害の確認なども行いながら整備を進めることが望ましい。一方で、特に市内市街地を中心に、商店利用者などに向けた一時駐輪場などの整備も併せて実施を検討することが自転車利用の促進の観点からは重要ではないか
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であることが確認された
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画 事後評価シート
都心ゾーン地区

令和6年2月

京都府長岡京市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	長岡京市	地区名	都心ゾーン地区			面積	173ha		
交付期間	令和2年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	1,472百万円	国費率	0.483				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業		(道路)庁舎西地区道路新設工事、市道第4042号線道路改良工事、(地域生活基盤施設)JR長岡京駅 駅前広場整備工事、(高次都市施設)多目的スペース								
	提案事業		(地域創造支援事業)中央長岡第1号汚水幹線								
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業		第1回変更(令和2年9月)にて追加。			駅前広場整備により、都心ゾーンの賑わい創出・魅力向上への効果が期待できる。			
交付期間の変更		当初変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地区内人口	人	17,362	H30	17,362	R4	○	あり	市役所供用開始、道路整備等により都市の利便性が高まり、地区内の人口が増加したと考えられる。	
	指標2	JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	35,895	H29	35,895	R4	△	あり	駅前広場の整備が部分的に進み交通結節点としての機能が高まったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が減少した。	
	指標3	広場活用イベント開催回数	回数/年	131	H30	154	R4	○	あり	バンビオ広場に加えて市役所1階ロビーでもイベントが可能となり、市民の活動の場を増やすことができた。	
	指標4								なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/㎡	228,375	H30					地区内の道路、広場等の整備が進むことで地域の魅力や利便性が向上し、それらが地価にも反映されたものと思われる。	
	その他の数値指標2										
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市役所新庁舎内に市民交流ロビーを整備したことで、市内で活動する市民団体や個人の創作発表の場が創出され、市民活動がより活発に行われるようになった。また、市民からも、「これまでは特定の用事がある際にしか市役所を訪れる機会がなかったが、市民ロビーで様々な展示や催しが行われるようになってからは、催しを目的に定期的に市役所へ訪れるようになった」との声が聞かれるようになった。 市役所新庁舎の整備に合わせて「庁舎西道路」を整備したことで市役所へのアクセスが非常に容易となり、上記市民ロビーの整備と合わせて「訪れやすい市役所づくり」という観点から高い相乗効果を発揮している。 阪急長岡天神駅やJR長岡京駅の駅前で「快適な滞留空間づくり」に向けた工事を進めるなかでは、工事現場を見た市民からは「以前から、駅前空間には市の玄関口としてふさわしいゲート性を備えた整備が必要だと感じており、完成が非常に楽しみだ」という声が多数寄せられている。 										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
官民連携による取組			阪急長岡天神駅 駅前広場については、今後の広場の管理や利活用においても近隣住民の意向等を把握しながら取り組みを進める。				● JR長岡京駅 駅前広場については、引き続き第2期計画において賑わい広場設置に向けた検討を進める。				
持続的なまちづくり体制の構築			長岡天神駅周辺まちづくり協議会による「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」の具体化に向けた活動				● まちづくり協議会と連携し、住民目線でのまちづくりを引き続き推進していく。				


様式2-2 地区の概要

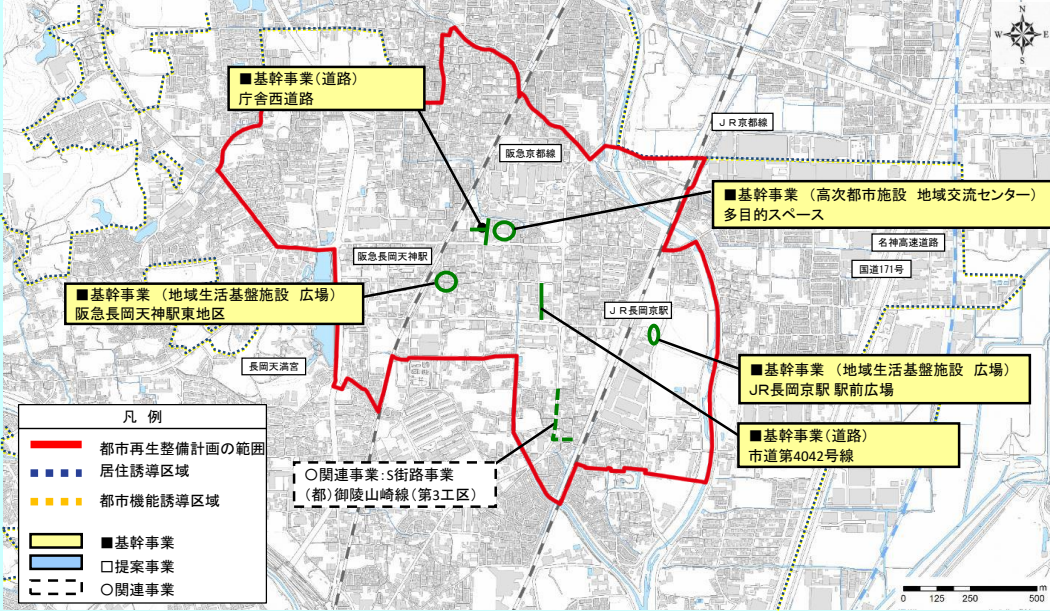
都心ゾーン地区(京都府長岡京市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 利便性の高さを享受できる魅力あふれるまちづくりの推進 目標① 地域の賑わいをけん引する賑わい・魅力づくりの創生 目標② 市の顔としての交流・交通結節機能の強化 目標③ 災害に強く、安全・安心で快適な環境の実現		地区内人口	単位: 人	17,362	H30	17,362	R4	17,498	R4
		JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	単位: 人/日	35,895	H29	35,895	R4	29,987	R4
		広場活用イベント開催回数	単位: 回数/年	131	H30	154	R4	158	R4
			単位:		H		R		R
			単位:		H		R		R

庁舎西道路 整備後



阪急長岡天神駅東地区 整備イメージ






凡例


- 都市再生整備計画の範囲
- 居住誘導区域
- 都市機能誘導区域
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

○ 関連事業: S街路事業
 (都) 御陵山崎線(第3工区)


庁舎 1階ロビー(多目的スペース) 利用状



JR長岡京駅東口駅前広場 整備中



市道第4042号線 整備後



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所新庁舎市民活動ロビーや阪急長岡天神駅東口駅前広場を整備したことにより、市民活動の発表の場や気軽に憩うことができる場の創出につながった一方で、比較的大規模なイベントの実施が可能な場の整備を望む声が多く寄せられ始めた。 ・地区内の通学路をはじめとした歩道空間の改良工事を進めたことで、安全に通行できる区間が拡大し、歩きやすくなる中心市街地づくりは一定進行したと言える。一方で、いまだに多くの狭隘な歩道空間が残されており、継続して歩道空間改良事業を行っていく必要がある。 ・駅前広場の整備が進行することで、駅の持つ交通結節点機能は一定の強化が図られた。一方で、一歩進んだ広場機能として、子供や体を動かす人・高齢の人など様々な境遇の市民が利用しやすいトイレやサニタリーなどのアメニティ機能の拡充を望む声も多く聞かれるようになった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地のにぎわい創出につながる、市民が自由にアクセスし活用できるイベントスペースや貸しホールなどの整備を行っていく。 ・“歩きやすくなる街なかつくり”を推進するため、継続して歩道空間改良事業を行っていく。 ・様々な境遇の人にとって使いやすい、次世代のバリアフリー水準を備えた公衆トイレを駅前に整備し、駅の持つ交通結節点機能を強化していく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

添付様式3-① モニタリングの実施状況

添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

添付様式5-② まちの課題の変化

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定の地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	庁舎西地区道路新設工事	532	L=120m	455	L=120m	工事を計画期間外に延長する。	影響なし	●	
道路	市道第4042号線道路改良工事	16	L=150m	15	L=150m			●	
地域生活基盤施設	JR長岡京駅 駅前広場整備工事	313	A=6,400m2	192	A=6,400m2	広場整備工事の一部について、工事を計画期間外に延長する。	影響なし		●
地域生活基盤施設	阪急長岡天神駅東地区駅前広場	—	—	579	A=1,000m2	令和2年9月に計画変更して追加。 住民協議に時間がかかったため、工事を計画期間外に延期する。	駅前広場整備により、都心ゾーンの賑わい創出・魅力向上への効果が期待できる。	●	
高次都市施設	多目的スペース	40	A=94m2	39	A=94m2			●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	下水道整備	23	L=200m	—	—	計画期間内に事業が完了する見込みがないため、計画から削除。	影響なし		
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
S街路事業		(都) 御陵山崎線(第3工区)	2,600	2,600	平成27年～令和7年		用地買収が進んでおり、今後工事着手が見込まれている	京都府実施事業	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	地区内人口	人	住民基本台帳より街区分別人口データを収集し、地区内の人口を算出。街区内に地区の境界がある場合、面積按分により推計。	17,177	H19	17,362	H30	17,362	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	17,498	事後評価	○		
											見込み					
指標2	JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	長岡京市統計書により公開されているデータを整理。(事後評価時点では令和4年度データは公開前であり、事業者よりデータを収集)	38,155	H19	35,895	H29	35,895	R4	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 ●	29,987	事後評価	△		
											見込み					
指標3	広場活用イベント開催回数	回数/年	バンビオ広場(JR長岡京駅)、長岡京市役所1階ロビーにおけるイベント実施回数を整理。	82	H24	131	H30	154	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	158	事後評価	○		
											見込み					

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	計画区域内の人口維持を目標として挙げていたが、その目標を達成するだけでなく長期的な人口増加の傾向を維持することができた。	
指標2	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降乗客数が大きく減少した。令和4年度には一定の回復が見られるものの、生活様式の変化により乗客数がコロナ以前と同程度に回復する可能性は低いと思われる。	
指標3	バンビオ広場においては従前値以上の回数(146回)のイベントが開催された他、令和4年度に供用開始された市役所1階ロビーにおいても計12回のイベント(令和5年3月まで)が開催された。	・長岡京市役所1階ロビーは令和5年1月より供用開始。 ・パネル展示等については開催期間を通して1回として集計。その他は開催日数を開催回数として集計。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことという。
 ※2 目標達成度の記入方法
 ○: 評価値が目標値を上回った場合
 △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 ×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)				
			基準年度		基準年度		モニタリング	事後評価	数値						
その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/㎡	地区内に位置する標準地・基準地における地価(地価公示・地価調査)の平均値を、国土数値情報(地価公示・都道府県地価調査)より集計。	238,500	H20	228,375	H30	256,125	R4	モニタリング				道路、広場等の整備に伴う地域の活性化や魅力向上、利便性の向上について評価するため。	・当該地周辺の居住環境のみでなく、全国的な景気動向によって当該数値が増減する傾向にある。 ・標準地と基準地が同じ場合は標準地(地価公示価格)を参照。
										事後評価	確定 ●				
											見込み				

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことという。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・市役所新庁舎内に市民交流ロビーを整備したことで、市内で活動する市民団体や個人の創作発表の場が創出され、市民活動がより活発に行われるようになった。また、市民からも、「これまでは特定の用事がある際にしか市役所を訪れる機会がなかったが、市民ロビーで様々な展示や催しが行われるようになってからは、催しを目的に定期的に市役所へ訪れるようになった」との声が聞かれるようになった。

・市役所新庁舎の整備に合わせて「庁舎西道路」を整備したことで市役所へのアクセスが非常に容易となり、上記市民ロビーの整備と合わせて「訪れやすい市役所づくり」という観点から高い相乗効果を発揮している。

・阪急長岡天神駅とJR長岡京駅の駅前で「快適な滞留空間づくり」に向けた工事を進めるなかでは、工事現場を見た市民からは「以前から、駅前空間には市の玄関口としてふさわしいゲート性を備えた整備が必要だと感じており、完成が非常に楽しみだ」という声が多数寄せられている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
阪急長岡天神駅東地区駅前広場の整備に関する意見交換会	予定どおり実施した	【実施回数】 計4回 【実施時期】 令和3年度～令和4年度 【実施結果】 駅前広場整備にあたり、近隣住民等の意見を把握するための意見交換会を行った。模型などを用いて丁寧に意見交換を進めることにより、近隣住民の意見を反映して広場整備を進めることができた。	今後の広場の管理や利活用においても、近隣住民の意向等を把握しながら取り組みを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
JR長岡京駅東口駅前広場賑わい空間整備に向けた意見交換会	予定どおり実施した	【実施回数】 計3回 【実施時期】 令和3年度 【実施結果】 JR長岡京駅東口に隣接する企業との意見交換会を実施し、駅利用者意見を踏まえた整備方針の検討を行うことができた。	引き続き、第2期計画において賑わい広場設置に向けた検討を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
長岡天神駅周辺まちづくり協議会による「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」の具体化に向けた活動	予定どおり実施した	まちづくり基本構想の周知・長岡天神駅周辺のまちづくりへの関心を高める活動を行う。また、今後の協議会活動の内容やあり方についても検討する。	長岡天神駅周辺まちづくり協議会	まちづくり協議会と連携し、住民目線でのまちづくりを引き続き推進していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課、公共資産活用推進室、住宅営繕課	令和5年5~7月	まちづくり政策室

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標1		指標3		その他の数値指標1		
		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	庁舎西地区道路新設工事 市道第4042号線道路改良工事 JR長岡京駅 駅前広場整備工事 阪急長岡天神駅東地区駅前広場 多目的スペース	○ ○ ○ ○ ○	市役所新庁舎の供用開始や地区内の歩道拡幅整備等により、都市の利便性が高まり、住みやすいまちとしてのイメージ定着が進み、地区人口の増加に貢献したと考えられる。また、駅前広場整備など計画期間内に完了しなかった事業があるものの、工事着手などをHPなどで広報しており長期的な視点で駅周辺の利便性向上が期待できることから、地区内の人口増加に一定の寄与があったものと思われる。	— △ ○ ○ ◎	既存のイベントスペースであるパンピオ広場に加えて市役所1階ロビーでもイベントが実施可能となったことにより、市民の活動の場を増やすことができた。	○ ○ ○ ○ ○	地区内の地価の平均値は従前値と比較して1割程度増加しており、また、地区の中心的位置であるJR-阪急間の地価については2割程度増加している箇所も見られた。地区内の道路、広場等の整備が進むことで地域の魅力や利便性が向上し、それらが地価にも反映されたものと思われる。	
提案事業								
関連事業	(都)御陵山崎線(第3工区)	○		—		○		

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用
駅前広場整備等の計画期間内に完了しなかった事業を進めるとともに、第2期整備計画においても引き続き地区内の整備を進め、将来的な人口維持を目指す。
パンピオ広場、市役所1階ロビーを活用した市民の活動を推進し、更なる賑わいづくりを図る。
第2期整備計画においても道路や広場等の整備を進め、市域の賑わいを牽引するまちづくりを目指す。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標2		原因の分類		原因の分類		原因の分類		原因の分類	
		目標未達成への影響度	総合所見	目標未達成への影響度	原因の分類	目標未達成への影響度	原因の分類	目標未達成への影響度	原因の分類		
基幹事業	庁舎西地区道路新設工事 市道第4042号線道路改良工事 JR長岡京駅 駅前広場整備工事 阪急長岡天神駅東地区駅前広場 多目的スペース	— — △ △ —	阪急長岡天神駅東駅前広場やJR長岡京駅の駅前広場の整備が部分的に進み交通結節点としての機能が高まったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が減少した。	— — — — —	III						
提案事業	中央長岡第1号汚水幹線	—									
関連事業	(都)御陵山崎線(第3工区)	—									

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたとと思われる。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※原因の分類
分類I：内的要因で、予見が可能な要因。
分類II：外的要因で、予見が可能な要因。
分類III：外的要因で、予見が不可能な要因。
分類IV：内的要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針(記入は必須)
新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化を踏まえつつ、駅前の賑わい創出・公共交通の利用促進に向けた取り組みにより交通結節機能の強化を図り、鉄道等の公共交通利用者の維持・増加を目指す。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課、公共資産活用推進室、住宅整備課、公園緑地課	令和5年5～7月	まちづくり政策室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
市場をけん引する賑わいある市街地の形成	・市役所の多目的スペースの完成によりイベント回数が増加し、地区内の賑わいを高めることができた。	・JR長岡京駅、阪急長岡天神駅の駅前広場が計画期間中に完成しておらず、市の玄関口となる駅の賑わい創出が不十分である。(長岡天神駅 駅前広場については令和5年11月までに完成見込)	
駅へのアクセス性向上及び交通結節機能の強化		・JR長岡京駅、阪急長岡天神駅の駅前広場が計画期間中に完成しておらず、駅へのアクセス性向上、交通結節機能の強化が不十分となっている。(長岡天神駅 駅前広場については令和5年11月までに完成見込)	・新庁舎市民ロビーが完成し市民活動の場が整備され、市民活動の機運が活発化したことで、比較的大規模なイベント実施が可能な場の整備を望む声が増えるようになった。 →歩道広場機能として、市民が利用しやすいトイレやサニタリーなどのアメニティ機能の拡充を望む声も多聞かれるようになった。
高齢者や障害者、子育て世代など誰もが歩いて暮らせるまちづくり	・道路空間の整備により安全な歩行空間を確保することができた。	・いまだに多くの狭い歩道空間が残っており、継続して歩道空間改良事業を行っていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方		想定される事業
	市民活動の場の拡大	・第2期計画において整備する新庁舎2期庁舎において、一般の個人・団体等が利用できる空間を整備する。	
地区内の道路空間の整備の継続	・第2期計画においても引き続き、地区内の道路空間の整備を行い誰もが歩いて暮らせるまちづくりを進めていく。	・地区内における側溝、舗装等の道路空間の整備	

改善する事項	改善策の基本的な考え方		想定される事業
	駅前広場の整備による駅へのアクセス性と賑わいの向上	・計画期間中に完了できなかった駅前広場の整備を進めるとともに、駅前広場に必要な施設等の検討および整備を進め、駅の利便性や賑わいの向上を目指す。	

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施進捗の計画(添付様式3)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-④ 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の留意

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標	単位	従前値		目標値		評価値	目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
		年度	年度	年度	年度				予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	地区内人口	人	17,362	H30	17,362	R4	確定 ●	17,498	○	あり			
指標2	JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	35,895	H29	35,895	R4	見込み ●	29,987	△	なし			
指標3	広場活用イベント開催回数	回数/年	131	H30	154	R4	確定 ●	158	○	あり			
その他の数値指標1	地区内の地価の平均値	円/m ²	228,375	H30			見込み ●	256,125					

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	明確に数値として集計できる要素を指標としたことで、達成度合いの評価が明確に行えた。	他地区で実施する際にも、数値化できる指標を積極的に採用していきたい。 次期計画においては新型コロナウイルスがもたらした行動変容を踏まえた上で、数値目標や整備内容を精査していく必要がある。
	うまくいかなかった点	「駅の乗降客数」に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大といった、予期できない事象の発生により、リモートワークの浸透や外出・観光控え、通販事業の拡大といった社会的な構造変容が生じ、目標値には到達できなかった	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	広場活用イベントの開催回数などは整備内容と直結した指標であるため、整備効果がダイレクトに評価できた。	引き続き、整備内容をダイレクトに反映できる数値目標の設定を心掛ける。 「地区内人口」については、左記の通り複合的な要因により増減する性質は一定有るものの、その地域の持つ活力や地域経済規模を如実に表した指標ととらえることが出来るので、他地区においても指標の一つとして継続して採用する。
	うまくいかなかった点	「地区内人口」などは、地区内での宅地開発やマンション建設などの複合的な要因で数値が増加した側面もあった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	広場整備にあたって周辺の住民等との意見交換会を実施したことにより、地域の意向を反映させた広場整備を行うことができた。	住民に身近な施設の整備等にあたっては、意見交換会・ワークショップ等を積極的に実施して地域の意向を把握し、住民参加によるまちづくりを推進する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		以降の計画においては、大きな社会的変化が生じた場合には、事業実施期間中にモニタリングを実施することも検討し、必要に応じて整備計画の変更や評価指標の変更等の対応を行う。
	うまくいかなかった点	事業実施期間中のモニタリングを行わなかったため、社会情勢の変化(新型コロナウイルス感染症の拡大等)を評価指標等に反映させることができなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

■今後、事後評価を予定する地区

本市では、令和5年から令和9年を計画期間とする「第二期都心ゾーン地区 都市再生整備計画」に基づく事業を進めている。計画の評価にあたっては、本地区における事後評価の経験を活かし、効率的・効果的な事後評価の実施を目指す。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和5年9月13日～10月13日	令和5年9月25日～10月13日	担当課への電話、 FAX、電子メール	まちづくり政策室
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	長岡京LIFE 10月号 (令和5年10月1日発刊)	令和5年9月25日～10月13日		
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見無し				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	大田 直史(龍谷大学教授) 佐伯 康介(元京都市交通政策監)	令和5年12月4日	まちづくり政策室	長岡京市まちづくり条例	長岡京市まちづくり審議会
その他の委員	横山 雅宏(市民公募委員)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・適正であると確認された
	成果の評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、阪急長岡天神駅の乗降客数が一時的に大きく減少したあと、その勢いの回復が緩やかなものにとどまっている要因の一つとしては、平成25年に開業した阪急西山天王山駅が開業して、利用者が分散したことも影響しているのではないかと ・適正であると確認された
	実施過程の評価	・適正であると確認された
	効果発現要因の整理	・JR長岡京駅の広場整備については、西口・東口の別をはっきりと記載するように ・効果発現要因の整理自体は適正であると確認された
	事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると確認された
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当に進められたことが確認された
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・市民団体の活動をさらに活性化していくためにも、その活動の器となる施設整備が一層図られていくことが望ましい
	フォローアップ	・妥当であると確認された
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であることが確認された
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--